

環境資材株式会社

快適な環境づくりに貢献する新商品

〈2019年12月9日号 8面〉



—— 選考ポイント ——

夏場の気温上昇に伴い、快適な環境づくりへのニーズは年々高まっている。遮熱・保水性能に優れた舗装ブロックに続き、特殊セラミックと樹脂等を組み合わせて新しい塗料を開発した。鉄だけでなくコンクリート等にも施工でき、幅広い用途への展開が期待される。

〈会社概要〉

代表者：高橋 篤史
 所在地：西条市大町1170-1
 資本金：1,000万円
 設立：2006年7月
 事業内容：産業機械部品の製造販売、コンクリート混和剤等の開発・製造販売、遮熱塗料の製造販売など。

環境資材 遮熱・断熱性能に優れた塗料開発 屋根等に塗工し、温度上昇を抑制

環境資材(株) (西条市大町、高橋篤史社長) はこのほど、特殊セラミックと樹脂を組み合わせた遮熱・断熱塗料「クーリングペイント」を開発した。遮熱舗装ブロックに続く自社開発の第2弾商品として、防水シートメーカーと共同研究も実施しており、塗料を用いた建築資材の展開も視野に入れる。

同社は2006年に創立。「快適な住環境づくり」をテーマに事業を展開し、ヒートアイランド現象による路面温度の上昇の抑制を目的とした、特殊セラミック含有の遮熱・保水性舗装ブロック「クーリングペイプII」を製品化している。



クーリングペイントを施工した屋根(白い部分)

特殊セラミックを含有することで遮熱・保水性能が優れ、特に遮熱は熱に変換されやすい近赤外線の高い反射率が高いのが特徴。また、多孔質のため熱

伝導率が低く、断熱効果もあるという。同製品は技術開発成果が地域産業の発展に貢献のあった企業等を表彰する「第23回 四国産業技術大賞」(技術功績賞・優秀賞)も受賞している。

今回開発した遮熱塗料は舗装ブロックと比べてより細かく粒度を調整した特殊セラミックと水性アクリルシリコン樹脂等を混合しており、屋根に塗布することで表面温度の上昇を大幅に抑制する。

省エネ対策や環境改善としてルーフ屋根や鋼板壁、鉄鋼構造物への施工が可能。現在大手メーカーと連携し、屋根防水用アスファルトルーフィングの塗工について共同研究を進めており、遮熱・断熱性能に加え、シートのべたつきを抑えることで施工性能の向上も期待している。

塗料は(一財)日本塗料検査協会(東京都)で遮熱性や耐候性等に関する試験・検査を完了しており、今後、代理店を開拓して全国に販路を広げていく考え。